

# いちほら

## 市民ネットワーク通信



県議会議員 山本 友子 市議会議員 小沢 みか 市議会議員 森山かおる

facebook

twitter

e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp  
ホームページ http://ichihara-net.com/

〒290-0073

市原市国分寺台中央 7-1-5 C1 ☎: 0436-21-1907 Fax: 0436-21-9073  
発行: いちほら市民ネットワーク 代表 桑田尚子

ホームページは  
こちらから



# あなたに伝えたい そして一緒に考えたい

私たちは暮らしに身近な課題をテーマに講演会を開催しています。一人でも多くの方々と共に学び考える機会を作っていきたいと思っています。これからも一緒に考えていきましょう。



「すてきな終活」五味先生の講演会は300人の席がほぼ満席。「ほんとに在宅で大丈夫？一人暮らしでも大丈夫？」不安や質問が相次ぎました。

## 防災ママカフェ@いちほら

大地震、津波、集中豪雨。その時、あなたは本当に子どもを守れますか？乳幼児を育てるパパママ向けのワークショップを開きました。

「想像力を働かせながら準備しましょう。停電になったら、情報はどう取りますか？子どもが食べない防災食では意味がありません。」講師・かもんまゆさんのリアルで迫力あるお話に、会場は惹き込まれていきました。



講師: かもん まゆさん

東日本大震災を期に、ママによるママのための支援コミュニティを設立。講演、メディア取材多数。



真ん中にキッズスペースを設け、パパママが子どもを遊ばせながら講義を受けました。

### 参加者の声

- 避難所は町内会単位で運営。備蓄品は成人男性を想定し、子ども仕様にはなっていない場合があることを知った。普段から町内会の人たちとコミュニケーションをとっておく必要があると感じた。
- 防災グッズを用意しただけで満足していたが、それでは意味がないことに気づかされた。
- 実際に防災食のパンを「平等に分ける」練習、知恵が必要だと思った。「食べ物の恨みは恐ろしい」と言われるので。
- 子どもが小さいと、なかなかこういう機会はなかった。パパと息子と一緒に聞いて楽しく学んだ。

## すてきな終活～part2

五味先生(五味クリニック院長)は、市原市姉崎で在宅医療に携わって26年。これまでに3000人以上の患者さんを、在宅で看取ってこられました。

「人工栄養や点滴などの過剰な延命治療を施さなければ、最期は脳内エンドルフィンが分泌され、とても安らかに眠るように旅立てるものです。延命治療は患者を苦しめるだけです」と話された五味先生。ところが実際は病院で最期を迎える方が75%を超えています。



五味クリニック院長  
五味博子先生

私たち自身がどう最期を迎えたいか、自分の意志を伝える「リビング・ウィル(生前の意思)」を、元気なうちから作成して家族に伝えておくことも大切です。

お医者さんと共に欠かせないのが訪問看護ステーションです。24時間体制で患者を支える訪問看護師3名によるパネルディスカッションも新鮮でした。市原市では、訪問医師も看護師も圧倒的に不足しています。これからはご近所の見守りの仕組みも、今よりもっと必要になります。



左から  
五味クリニック訪問看護 睦元由美さん  
訪問看護ステーションひかり 渡辺邦男さん  
訪問看護ステーションわたぼうし 夏目昌信さん

市民ネットは在宅医療・介護の充実に向けて今後も取り組んでいきます。

9月市議会 代表質問

若年女性人口の減少比較グラフは、市民の意見を基に作成しました。公民館や八幡地区の公共施設再配置についても、市民からの相談がヒントになりました。一人ひとりの声に耳を澄ませば、市全体の課題が浮かび上がることを実感しています。



ブログで活動を報告

市原市議会議員

小沢 みか



◆若年女性の減少が  
きわ立つ市原市

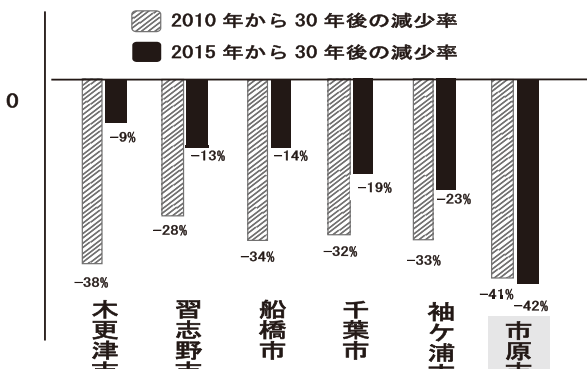
原因の根っこは

役所の風土と職員の意識

市原市は20～39歳の女性人口が2015年(約27732人)から30年後には42%減少。近隣市の比較でも5年前の推計より悪化するのには市原市のみ！

この原因はさまざま(職場・交通・住宅など)考えられますが、まずは男性主導の役所の風土や職員の意識の改革が必要でしょう。女性幹部職員の少なさは、県内でもワーストクラスです。女性の視点が反映されにくい環境が、今になってあらゆる政策に影響を及ぼしています。

20～39歳 女性人口 減少の比較



出典：人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より

◆八幡宿駅西口をモデルに

公共施設再配置の検討スタート

八幡宿駅西口にある老朽化した公共施設7施設公民館、支所、認定子

◆まさか!?!の公民館クイズ

問題 市原市の公民館で利用出来ないのはどれ？

- ① カラオケ同好会の仲間の打ち合わせ
- ② 手芸サークルが会費制で講師を招き受講
- ③ 参加者を募り認知症予防講座を開催

答え ③ 市のマニュアルに従えば、サークル内の趣味やお稽古事はOKですが、広く住民参加を募った場合、公共性や公益性が高くてもダメなのです。近隣のほとんどの市は許可しているのに、これでは市民の自治活動の意欲も削がれてしまいます。



八幡公民館で開かれた懇談会。公民館を利用するサークルの代表者が集まりました。

ども園、青少年会館、武道館、教育センター、青少年指導センター)の統廃合について、地元住民等との懇談会が始まっています。今後はワークショップなどで意見を集約し、約2年間で基本計画をまとめる予定です。

一方、東口には、少子化により統廃合も検討される学校施設があります。学校施設の複合化や跡地利用も含めて、単なる西口の公共施設の削減ではない、駅周辺一帯のまちづくりの視点が必要と主張しました。

9月市議会 決算審査

9月議会では2017年度の決算審査が行われました。水道事業の抜本的な改革、老朽化した第2庁舎(旧庁舎)の今後の方向性についても意見を述べ、市民ネットワークは決算に賛成しました。



ブログで活動を報告

市原市議会議員

森山 かおる



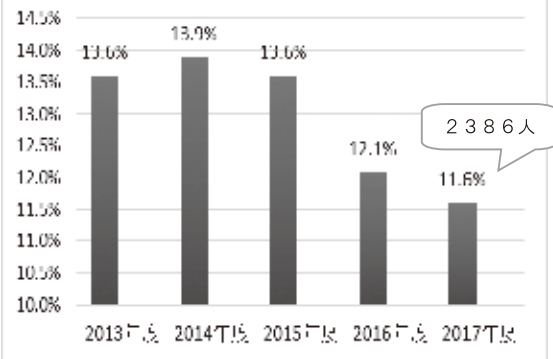
◆子どもの貧困対策に  
十分な支援を

7人に1人といわれる貧困状態にある子どもへの対策として学費や給食費を援助する就学援助制度があります。しかし生活保護基準の引き下げに伴って、就学援助対象者の割合も減ってきています。

市原では給食費滞納者のうち45%は経済的な理由です。就学援助の対象者が拡充されれば滞納者の給食費を集める教職員の心理的な負担も軽減されます。

今後の生活保護基準の見直しで、これまで援助を受けられていた児童・生徒が対象外にならないよう配慮しつつ、対象児童・生徒の拡充を要望しました。

就学援助対象者割合

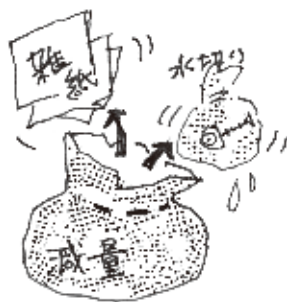


◆もっとアピールが必要  
ごみ減量をもたらす効果

2017年度の一日一人当たりのごみ排出量は901g。年々減っていますが、3年後の目標である860g

を達成するには厳しい状況です。市はごみ減量を進める情報を発信していますが、残念なことに適切な分別がされず、燃やすごみの中に再資源化できる雑紙や布類などが2割近くも混じっています。

ごみ処理にかかる費用は年間29億円。焼却施設を更新することになれば数百億円もの費用がかかります。ごみ減量や再資源化がこうした費用の削減にもつながることを市民に理解してもらい、実践しやすい情報発信を行うことが必要です。



◆地方創生の交付金を  
有効に

地域活性化・ブランド力向上って何？

国からの交付金を活用している「地方創生」事業では、地域活性化・ブランド力の向上を目指し商品の開発を行っているものがあります。

しかし、具体的な「目指す姿」を示さず、何をもちて地域が活性化したか、またブランド力が向上したと言えるのか不明確なままです。

地方創生交付金は、国から1/2が交付されますが、残りは市税がつき込まれています。市原市が市の活性化に対する「目指す姿」を示さない限り税金の無駄使いでしかありません。明確なビジョンを示し取り組むよう求めました。



# 山本友子 10月県議会報告



ブログで活動を報告しています  
「てくてくともこ」

10月県議会の主な出来事は何といっても日本初の再生土に関する条例です。課題はたくさんありますが一歩前進です。千葉県文化芸術振興条例づくりに会派を超えて携わることができたことも、私にとっては大きな成果です。

## 千葉県再生土等の適正な埋立に関する条例 成立！

再生土に関する条例が賛成多数で採択されました！再生土とは、トンネル工事等から出た建設汚泥を、中間処理施設で石灰等で、固化し規制もなく埋め立てるものです。市内でも太陽光パネルが埋め立て現場に設置されている事例が多くみられます。強アルカリ性の物質や塩素を含む物質が稲を枯らし、土砂が崩落するなどの被害が県内各地で相次いでいます。

### ◆課題の多い条例

今回の条例は、事業者は「許可」でなく「届け出」制であり、住民同意の要件が緩いこと、中間処理業者への規制が働きにくいことなどの課題はまだあります。しかし罰則規定もあるので、効果

2017年度決算審査特別委員会が6日間行われ、環境・福祉・土木・教育・農林業など、多岐にわたり審査しました。水余りなのにダム事業からは撤退しないこと、県立病院改革プランの甘さ、夜間定時制高校給食廃止など、厳しく指摘し反対しました。



囲った辺りが予定地。10万本伐採し、谷を埋める計画に市民は猛反発。

日本最大の巨木メガソーラー建設計画（鴨川）  
面積300ha（ゴルフ場3個分）、伐採森林（10万本）、資金力がほとんどない業者により計画されています。現地は山腹崩壊危険地区・土砂流出危険地区であり豪雨災害も心配され、反対署名活動や大集会も開かれています。巨大な自然破壊につながるメガソーラー計画に反対しました。

## 日本最大規模の環境破壊計画が二つも！

果のなかった「指針」よりは一歩前進です。問題は、今後条例を、業者にどこまで厳しく守らせられるかです。職員体制の強化も必要です。それにしても市原市は、未だに残土条例さえも改正で

きないため、他市から締め出された残土処分や再生土の不適切な現場が後を絶ちません。県に「おんぶにだっこ」して何でもやってもらおうという姿勢はいよいよ加減卒業してほしいものです。



10/19 君津市民がバス4台で来庁しパレードを行い、県に要請文を渡しました。

### 新井総合(アラックス) 最終処分場Ⅲ期計画 (君津・市原)

大福山の山頂付近（小櫃川、御腹川、養老川の分水嶺）の処分場は、1期処分場は漏水事故で停止中、2期はすでに80%埋め立て済み。そこで新たに221万立方メートルの3期目を計画しました。

### 来春開校

### 消防学校建設中



9/4 建設中の消防学校を見学しました。開校が楽しみです。（八幡高校前）

この処分場には、すでに県内外の放射性廃棄物が総量610億ベクレル以上搬入されています。

しかし県は、議会で継続審査中であつたにもかかわらず、8月に設置許可を出しました。市原にとっても養老川の汚染に繋がりがかねない重大問題です。君津市民と共に計画をストップさせましょう。

防災の拠点ともなる千葉県消防学校は一部すでに使っていますが、来春3月には外構工事を含めて完成し、全面開校します。水難救助・水没車両からの救出・マンホールからの救出などを想定した最新訓練施設もあります。地震・台風・豪雨など、異常気象が頻発する時代に突入してしまつた昨今、市原市にとっても頼もしい拠点になります。



# いちはら 市民ネットのお知らせ

(月～金10:00～17:00)  
連絡先 0436-21-1907

市民ネット事務所で開催しています。

- 暮らしなんでも相談  
毎月 原則第4月曜日 10:00～16:30
- 相続手続き・相続税申告・遺言・信託・後見についての相談  
税理士法人が対応いたします。  
初回 30分のみ無料で相談(要予約)
- おしゃべり介護喫茶  
毎月 原則第4金曜日 13:30 オープン  
店主 喜多 庸子さん(介護歴20年)  
予定 12月21日(第3金曜日)  
2019年1月25日 2月22日 3月22日
- 手作り小物教室  
毎月 原則第4水曜日 13:00～16:00  
講師 米元慶子さん  
材料費 200～500円  
予定 12月19日(第3水曜日)  
2019年1月23日

- アートギャラリー  
12月 おばあちゃんの編み物展 米森トミ子  
2019年1月より6月までギャラリーはお休みします。
- ★レアメタルのリサイクル回収拠点  
使用していないパソコン・プリンター・携帯電話などをリサイクル会社(有)トレス環境システムにて回収します。IT 機器内の情報はきちんと処理いたします。

## ◆いちはら市民ネットワークの活動は…

1. ネットの議員は、企業・団体とのしがらみがないので、きっぱり大胆に発言できます。
2. 議員報酬の多くを市民ネットの活動費に。
3. 一人ひとりの声を大切にして市民参加の政治をつくりまします。

## いちはら市民ネットワークの会員募集

年会費 2,000円  
会費振込先 いちはら市民ネットワーク郵便振込口座  
00130-3-575259  
ゆうちょ銀行 店番058 普 2941343

シリーズ⑤

# ひとりもりたさおりの この女 守田早生里さん(島野在住)



フリーライターとして働く守田早生里さん。子育てと仕事を両立させるため「在宅勤務」という働き方を選択しました。生涯のテーマとして、「女性の人権」を掲げている守田さんにお話を伺いました。

### ♡プロフィール♡

12年前、市原市に転居。家族(夫・中学生の息子)。コミュニティ紙等の編集に関わる傍ら、留学経験を活かし地域の子ども達に英語を教えている。市原市男女共同参画審議委員、ボランティアで翻訳や通訳なども行っている。

\*フリーライターになったきっかけは何ですか？

守田 子どもが幼稚園に行くようになり、時間の使い方も働き方を考えるようになりました。結婚前まで、外資系の会社で秘書翻訳の仕事などをしていたので、その経験を活かして、子育ても両立できる在宅の仕事を探していたのがきっかけです。

\*やりがいはどんな時ですか？

守田 著書の方だけではなく、さまざまな分野で活躍している方々に会えることです。その人の人生の一部を垣間見ることができて、たくさん勉強をさせていただいています。今後はどんな人に出会おうか、ワクワクしています。読者から記事を読んで「生き生きする力になった」と言われるのは、この上ない喜びですね。

\*これからの抱負は？

守田 生涯のテーマとして考えているのは、人権に関することです。特に多様化する性の問題、女性の人権についてですね。遠い将来になると思いますが、いつか女性の人権についての本を書きたいとぼんやり考えています。

\*今日はすてきなネックレスを着けていますね。

守田 そう、これはサフランエッセントカラーといって緑は希望、白は清らかさ、紫は尊厳の意味があり、百年前イギリスの女性参政権運動の時、彼女たちが身につけていた花やアクセサリーの色です。三色の頭文字 G W V は Give Women Votes(女性)選挙権をの暗号でもあります。命を懸けて社会を変えた彼女たちに勇気もらい、その勇気を

忘れないために身につけるようにしています。

\*在宅勤務のメリットとデメリットは？

守田 メリットはやはり家に居ながら、仕事ができることです。特に子どもが小さい時は助かりました。反面、いつでも仕事ができるので、リビングが仕事場になり、締切際は子どもを寝かしつけながら、ベッドの上でパソコンを叩いたりなんてこともありました。

\*市原の女性へのメッセージは？

守田 目の前のことだけでなく、家庭の外にも目を向けてほしい。想像力を働かせると、世界が何倍にも広がります。「おかしこと思ったら迷わず行動をpon」と。「中立」という言葉に惑わされなくて自分の意見を持つてほしいと思います。

なんだか淋しい

喜多庸子(介護歴20年)

## 店主のつぶやき 5

### 「おしゃべり介護喫茶」

～市民ネットの事務所で開催しています～



お茶を飲みながら、介護の苦勞や打ち明け話におしゃべりがはずみます。

しかし母は「庸子ちゃんがないと生きていけないよ。でも一人になると、何だか心が淋しくなると涙が出る」と話す。そう言われて考えると、68歳の私もこの頃元気が出ない。漠然とした老いへの不安。現実突きつけられる自分の老化。心がしんどくなる時もある。そんなことを考えると93歳の母の言うことは、うなずける気がする。若い時には、生きていくことはワクワクで気持ち弾んでいたが、年を取ると心は寂しさが忍び込む。それは人生の終末に向かう淋しさなのかも知れない。

どんなに人に支えられていても、その淋しさは消えないだろう。介護しているうちに、何でもかんでも支えている気になってきた私に母は時折そつと人生の本当の事を教えてくれる。

母の認知症はいよいよ進んで「毎晩、信ちゃんか飯を食べに来るけど、一人暮らしなんだね」と主人の事(私の夫)を言い出し、私たちが結婚していると話すと「エッ。初めて聞いた!!」と驚く始末。そんな母なので、起床から夜寝るまで、何やかやと手が焼けて一日終わるとやれやれ。

知り合いからは「久子さんは娘がいて幸せ者だね」と言われている。しかし母は毎晩寝る頃になると「なんだか淋しい。一人ぼっちの気がする」と言う。頭に来た私は「あなたのために娘の私はどれだけの時間を毎日使っていると思っの。これ以上私に何をしろと言っの!!」と思わず大声になる。